

市議会だより

桐生市議会政策研修会



表紙 「自治体議会の議会力向上のための課題と方策」 についての政策研修会を開催

お知らせ

◆次回定例会の開催予定は…

8月28日(火)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。



Pick up

平成30年第2回定例会は、6月1日(金)に招集され、6月22日(金)までの22日間の会期で開かれました。

- 議会改革度ランキング ……P 2
- 政務活動費 ……P10
- 行政視察 ……P11
- 特別委員会設置 ……P12

桐生市議会は、いちばん身近な頼れる議会を目指して議会機能の充実強化に努めます。

「議会改革度調査2017」 トップ10にランクイン

全国の地方議会の議会改革度を調査する早稲田大学マニフェスト研究所の「議会改革度調査2017」において、桐生市議会が全国で第6位という大変高い評価を受けました。

この調査は、早稲田大学マニフェスト研究所が日本全国の都道府県議会・市区町村議会を対象に2010年から実施しているもので、今回で8回目になります。議会が果たすべき役割を、(1)情報共有(本会議や委員会の議事録や交際費・視察結果の公開など)、(2)住民参加(傍聴のしやすさ、議会報告会などの実施、住民意見の聴取)、(3)議会機能強化(議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況)の3つの柱として、それぞれの議会改革の度合を数値化し、ランキングを出しています。

今回の調査では、桐生市議会は前年の第17位から第6位とさらに大きく躍進し、堂々のトップ10入りを果たしました。特に、3つの柱のうち(1)情報共有と(3)議会機能強化については、大きく順位を伸ばしています。これは委員会等の会議録の公開、PDCAサイクルに基づく議会基本条例をはじめとした議会改革の検証、また、常任委員会の所管事務調査に専門的知見を活用したことなど、新たな取り組みが大きく評価されたものと思われます。その他にも、地方議会が抱えている「議員のなり手不足」「女性が働きやすい環境づくり」「多様な人材確保」などの問題について、いち早く取り組んだことも高い評価の対象となったものと思われます。

ランキング表のとおり、桐生市議会は、群馬県内はもとより関東圏内でもトップという評価をいただきました。しかし当然のことながら、桐生市議会が議会改革に積極的に取り組むのは順位を上げるためではなく、市民の皆様にとって「いちばん身近な頼れる議会」を実現するためであり、順位はその姿勢が評価された結果だと理解しております。今後とも、市民の皆様にとってより良い桐生市議会であるよう議会一丸となって頑張ります。

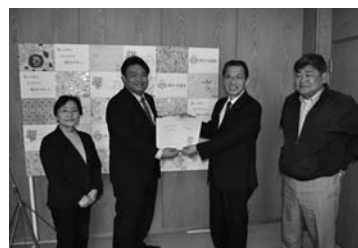
「議会改革度調査2017」全体ランキングTOP10

順位	市議会名
1位	北海道 芽室町議会
2位	滋賀県 大津市議会
3位	大阪府議会
4位	石川県 加賀市議会
5位	三重県 四日市市議会
6位	群馬県 桐生市議会
7位	岐阜県 可児市議会
8位	福島県 会津若松市議会
9位	大阪府 堺市議会
10位	東京都 町田市議会

調査：早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査部会



委員会会議結果



基本条例検証



桐生市婦人団体連絡協議会との
まちづくり討論会



商業高校とのまちづくり討論会



6月21日(木)・22日(金)の2日間にわたり、16人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の下のカッコ内は所属党派名（無会派は会派に属さない議員）



山之内 肇
(公明クラブ)

「健幸」ポイント 制度の創設

質問 健康寿命を伸ばし、どんなに高齢化が進んでも、健やかで幸せに暮らせる桐生市を

目指すための政策として、「健幸」ポイント制度の導入を継続的に提案してき



この表示のとおり、緊急時以外、使用禁止。Do not use unless emergency. 除震急時以外切当使用。긴급 상황에만 사용.

質問 緊急時にAEDを使用できる体制強化に向けて、「(仮称)救急ステーション制度」の創設を進めていただきたいと考えるが見解は。

答弁 設置状況調査にきた民間施設については、AED設置施設であるこ

限り早くインセンティブ施策の具現化を図りたい。

救急ステーション 制度の創設

運転免許制度の改正による 消防団員の免許証

質問 運転免許制度の改正により消防車を運転することができない消防団員の人数、割合とそれに伴う支障と対策

は。

答弁 消防車を運転することができない人数と割合については、桐生方面団が22人で7・0%、新里方面団が21人で23・6%、黒保根方面団は全団員運転可能となっている。運転以外での



新井 達夫
(そうぞう未来)

支障については、機関員として選任することができないため、群馬県消防学校の教育課程である機関科を受講できないことである。対策については、今後の消防団運営に係る重要な課題であるため、さらに研究し対応を図ってまいりたい。

ふるさと納税

質問 当市の寄附者への返礼品の取り組

答弁 返礼品への取り組みについては、各方面からご意見・ご要望をいただいているが、制度本来の趣旨に沿った形で寄附金を有効活用するために、返礼品の調達やPRに必要な以上の経費をかけないことを前提に、商工会議所や企業・事業者等の協力を求めながら返礼品の候補を検討してまいりたい。また、ふるさと納税制度を活用した創業支援など、地域課題の解決や地域活性化に向けた新たな取り組みについても推進してまいりたい。

答弁 市民にとって魅力的な健康づくり事業やモデル地区を設定しての取り組みなど、研究・検討を行っている。今年度、保健事業の充実を図る中でポイントの付与方法等、具体的な検討に入っており、できる

緊急貸し出しについて、個別訪問を実施し、協力を求めたい。

◆**その他の質問項目**
◆すべての施策に「健幸」の視点を

◆AEDを24時間使用できる体制の構築（公共施設の屋外への施設推進、コンビニへの設置）





園田基博 (創志会)

高齢化対策

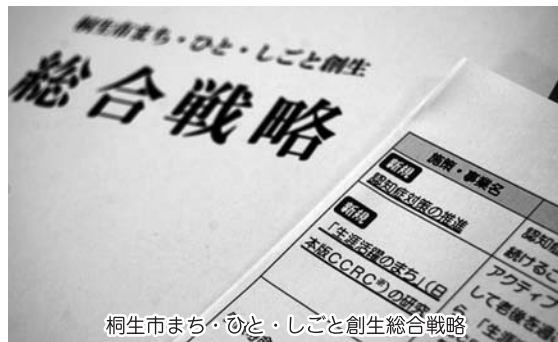
質問

桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中に「生涯活躍のまち」(日本版CCRC)が示されているが実施状況はどうか。

答弁

「桐生市高齢者施策推進協議会」や「地域包括ケアシステム構築検討委員会」において検討を行い、当該構想の実施が、高齢化に拍車をかけ、若い世代への負担増につながってしまうことや介護・医療に従事する職員の人材不足を危惧する声など、慎重な意見が多く提起された。

また、先駆的モデル地区の長野県佐久市を視察したが、費用対効果や事業効果の持続性などを事前に十分に検証する必要があると考えられる。今後、市庁内関係部署の横断的な連携のもと、慎重に検討



桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略

を重ねたうえで、本市の方針を定めていきたい。

質問

高齢者対策に係る市長の考え方は、

答弁

団塊の世代が75歳以上となる2025年には、市全体の20%以上が後期高齢者になるので、早急に対策していかなくてはならないと考えている。

また、今後も地域包括ケアシステムの構築を進める観点から、誰もが自分らしく住み慣れた地域で、それぞれの能力に応じて、自分らしい暮らしを最後までできる地域づくりを目指していきたいと考えている。



渡辺恒 (日本共産党議員団)

保育の充実

質問

賃金が低く保育士の人員確保は厳しい状況であるが、保育士が安定的に働ける環境を作るため、市として独自の支援はできないか。

答弁

定価 公 格はどの園においても、子どもが健康やかに成長するために適切な水準の保育ができるよう金額が定められているので、現在のところ市独自の支援は考えていない。しかし、十分な保育ができないという現場の声もあるので、様々な機会を捉え、県を通じて国に公定価格や処遇改善の見直しについて要望してまいり



保育園の様子

たい。

おりひめバス

質問

バス停がない、などの理由でバスに乗るのが難しい人が大勢おり、そういう人の意見を聞いていくことが今後のバス交通の課題であると考えますが、どのように取り組んでいくのか。

答弁

今 後、 県立高校の統廃合が予定されており、それに合わせた見直しを検討しているが、特に桐生女子高校の通学用の輸送力の振り直しのため大規模な改正となること

も予測されることから、今年度から運行計画の見直しの準備を始めている。年内には自治会を通じて要望調査を実施し、市民からの声を聞きたいと考えている。



久保田裕一 (そうぞう未来)

新里・黒保根支所の日直業務

質問

平成30年5月より閉庁日の日直業務が民間委託となったが、概要及び影響は。

答弁

概要については、これまで支所の職員が行っていた日直業務を民間業者に委託し、各支所に民間の職員1人を配置するものである。委託業務の主な内容は、来庁者や電話への対応、施設の鍵の貸し出しなどとなる。また、民間委託に



特急トキaido号

よる影響として、まずメリットは、閉庁日の職員体制は新里支所が2人、黒保根支所が1人で対応し、年間1人当たり6、7回の日直業務があったが民間委託したことで職員の負担軽減と平日業務における職員体制の充実につながった。また、デメリットは、支所での税金などの現金の取り扱いや死亡届の受付ができなくなったことがあるが、それ以外は特に変化はない。

特急料金無料化社会実験

質問

東武桐生線の特急料金無料化社会実験について、県と東武鉄道との協議はどのように進んでいるのか。

答弁

群馬県が平成30年度に約700万円の予算を確保し、年内の実施を計画中であるが、その方法については利用者が社会実験に参加しやすい形で、混乱なく実施できるよう群馬県と東武鉄道で現在も協議を進めている。



藤 英 人
(創志会)

情報セキュリティ対策

質問 サイバー攻撃に対するサイバーやネットワーク系の今後の対策強化は。

答弁 個人番号利用事務系ネットワーク、L G W A N 接続系ネットワーク、インターネット接続系ネットワーク、中間サーバー接続系ネットワークの4種類のネットワークを完全分離しているため、他のネットワークに侵入することはできない仕組みとなっており、万全なセキュリティ対策を行っている。

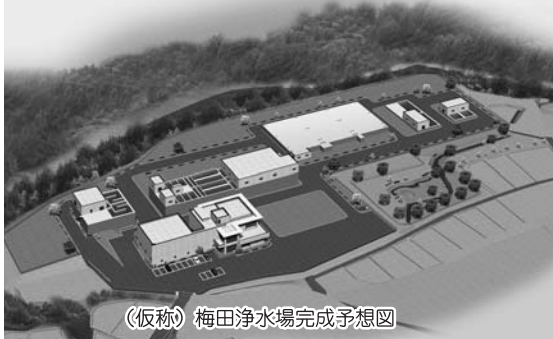
データセンター関連の企業誘致

質問 首都圏に集中している備蓄データを地方へ分散化する

今後、保守委託業者と情報共有を図りながら安全で強固なネットワーク運営に努めてまいりたい。

るため、(仮称)梅田浄水場の周辺に桐生の水道水を利活用できる企業を誘致することについて、当局の見解は。

答弁 データセンターの設置にあたっては、機器の冷却に水を使用する場合は、都心と比較し良質な水が安価で入手できることから、企業誘致における大きなアピールポイントとなる。地域未来投資促進法に基づく土地、家屋を対象とした固定資産税の3年間の減免制度なども併せて当市に立地する優位性をPRし、誘致活動を推進してまいりたいと考えている。



(仮称) 梅田浄水場完成予想図



始 原 井 浩
(クラブ21)

子ども見守り

質問 登下校中の児童を狙った犯罪が後を絶たないが、通学路での子どもの安全を守るための桐生市の取り組みは。

答弁 全国的に不審者の声かけや連れ去り事件は後を絶たず、大きな社会問題になってきている。当市においても危険性は考えられ、不審者は子どもの下校時に出没することが多いことから、当市ではすべての小学校のすべての通学路に「子ども安全協力の家」を566軒設置し、登下校時のいざという時逃げ込める安全な場所を確保している。また、児



通学の様子

童・生徒の安全確保のため、毎月、午後3時から昼間補導、午後4時30分からの夕方補導、午後7時からの夜間補導のほか、各地区において自主的な任意補導も行っている。さらに、各区や関係団体による見守り活動や補導連・PTAなどがステッカーを貼ったのPatロール活動など、多くの人に協力していただき、不審者が犯罪を起こしにくい環境の醸成に努めている。

職員の市内居住

質問 桐生市職員は桐生市に住むべきではないか。桐生市職員服

答弁 桐生市職員服

規則の考え方等は、昭和30年に制定され、職員の職務上における基本的な「決まり」を規定しているものであり、市の職員は市内に住んで桐生市のために働くのが基本という考え方を示したものである。

現在、市外居住の許可基準は、明文化しておらず、1件ごとに判断している。許可の多くは、市外に家を新築又は、購入する場合や高齢の親と同居する場合などであり、憲法第22条に「居住の自由」が規定されており、市内居住を強制することは、憲法の趣旨から難しく、申請が出れば認めざるを得ないのが実



飯 島 規
(無党派)

職員の市内居住

情である。しかしながら、職員の市内居住は、基本と考えており、災害など緊急時の対応や一市民として地域活動に積極的に参加し、市民が何を考えているのか、直に感じることは大変重要なことであることから、機会があるごとに職員の地域参加について指示しており、今後も職員には、市内居住の重要性について説いていきたい。また、職員の採用は、面接時に市内に住むことの重要性を伝え、本人の居住意思を確認しているが、「居住の自由」などから市内居住を任用条件にするのは、研究が必要と考える。



桐生市役所



北川久人 (創志会)

観光

質問

観光客を、集客力のある動物園・遊園地から市街地へ誘導するべきと考えるが、これまでの取り組みは。

答弁

ゴールデンウィーク期間中に、遊園地ゲート前において、職員による観光案内及びアンケート調査等を実施し、また土日祝日に、低速電動コミュニティバス「MAYU」を遊園地から有鄰館を結ぶコースで運行し、観光客の動線を作るとともに市内消費を拡大させるため、飲食店や物産品を紹介したパンフレットを園内で配布している。

質問

市街地へ誘導するため、広告料収入を財源にチラシ等を作成し、駐車場の誘導員等が配布することについては。

答弁

民間事業者との連携強化が図



桐生が岡遊園地

れるとともに、市の財政的負担の軽減につながることから有益な手段と考えている。既に遊園地の管理運営を行っている桐生市スポーツ文化事業団では、園内パンフレットを飲食店等から広告料を得て制作、配布している。新たな宣伝物を制作し、駐車場誘導員等が車両誘導時に配布することにについては、安全面等に問題がないか、どのような情報が必要かを研究し、その対応について検討したい。

○その他の質問項目

◆桐生市歴史的風致維持向上計画



辻正男 (そうぞう未来)

皆沢地区整備

質問

皆沢地区の携帯電話の基地局設置が遅れている理由と今後の予定は。

答弁

携帯電話の基地局建設については、通信事業者から他の基地局設置工事の關係により遅れていると聞いています。基地局建設については、地元住民からの要望事項の一つであり、またストックヤード関係者にとっても必要なものと考えているので、今後も早期設置に向けて通信事業者への要望を続けていき、現時点では、年内には完成をさせたいと伺っています。

ペットボトル無配布

質問

堀マラソン大会と元宿浄水場開放において、ペットボトルの配布がなかったが、その理由は。

答弁

被災地の支援と在庫数に不足が生じ必要量を確保することができなかつたことによるものである。堀マラソン大会においては、水道局の給水車をゴールに近いステージ裏に配置するとともに、婦人会の協力をお願いしながら、温かい麦茶の提供と合わせて、スポーツドリンクを配布し、飲料水の提供に努めた。今後は、ランナーの健康上のことも考慮し、フイニッシュ時に何らかのペットボトル飲料水を提供できるように検討したいと考えている。



堀マラソン

し、飲料水の提供に努めた。今後は、ランナーの健康上のことも考慮し、フイニッシュ時に何らかのペットボトル飲料水を提供できるように検討したいと考えている。



周東照二 (公明クラブ)

桐生市場内の道の駅設置

質問

実現できなかつた経緯は。

答弁

道の駅設置要件として、設置者は所在自治体もしくは所在自治体を含む第3セクター方式、あるいは公的法人等が事業主体となつて設置する施設であること。また、公設卸売市場を民間活力の導入によって地方卸売市場として存続させ、市場事業の継続を図



桐生地方卸売市場

る目的で民営化された経緯もあることから、桐生市が直接的に事業主体となる道の駅の実現は大変難しいと桐生地方卸売市場に回答している。なお、同時期にみどり市にも協力依頼があり、単独での協力は難しい旨回答がなされていると伺っている。

設置に向けた桐生市の考え

質問

市民要望等を受けて再度設置に向けて努力していただきたいと思うが、市当局の見解は。

答弁

桐生市が直接的に事業主体となる道の駅設置は非常に難しいものであると考えている。しかしながら、地域の活性化と情報発信を考慮した直売所等併設の道の駅類似施設である市場の駅や食の駅などについては、桐生地方卸売市場を含む民間企業が事業主体となり計画されるのであれば、市としてどういった形で支援ができるか検討してまいりたい。



見 武 男
人 (創志会)

学校における 道徳教育

質問 当市の道徳教育の考え方と家庭との連携は。

答弁

本市における道徳教育の考え方として、平成29年3月告示の小中学校学習指導要領に示された「道徳教育の目標」の達成に向け、各学校で確実に実施した

いと考えている。学校における道徳教育は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目的に、道徳科の授業はもとより、学校のあらゆる教育活動を通じて指導しており、年間35単位時間の指導において、学年ごとに示されているすべての道徳的価値に関する内容項目を扱い、児童生徒が自分事として考えなが

ら学習できるような指導の工夫を行っている。また、家庭との連携においては、学校だけではなく、家庭や社会がその目標を共有し、一体となって取り組むことが不可欠であるため、授業参観等で道徳科の授業を公開したり、道徳科の授業で児童生徒が考えたことを通信等で家庭に発信し、親子で道徳に関する話し合いができるよう話題の提供や、講演会を行ったりするなど、子どもたちの道徳性を養う上で学校教育と家庭教育の連携が進み、より効果が上がっているよう工夫している。



授業の様子



田 島 忠 一
(そうぞう未来)

桐生が岡公園

質問 遊具の更新予定があれば伺いたい。

答弁

現在、利用している遊具は、適切な点検、探傷検査を実施し、必要に応じて、補修・修繕、部品交換などを行い、遊具の長寿命化と安全確保を図っている。このように、今ある遊具を少しでも長く使用できるように管理、運営を行っていることから、現在のところ遊具の更新予定はない。



桐生が岡公園の遊具

ができるメリットがあるが、具体的にどのような検査なのか。

答弁

生化学検査及び血球計数検査を行っているほか、希望された人に、B型肝炎、C型肝炎、梅毒、HTLV-I抗体検査を行っている。

質問

B型、C型肝炎ウイルス検査により肝がんが予防できる事が判明している。健康な人が献血をして、様々な病気やがんにならないために検査を受けるよう周知していただきたいが、考えを伺いたい。

答弁

献血は、日本赤十字社が、献血していただいた人への感謝の気持ちで実施しているものであるため、ご理解いただきたい。

献血の現状

質問

献血を行うことにより、血液検査



小 滝 芳 江
(クラブ 21)

小中一貫校

質問 平成22年の一般質問において小中一貫教育の導入について質問があり、今後、可能性について検討を進めたという答弁があったがその後の研究内容は。

答弁

小中一貫教育の前段階にあたる小中連携教育を数年前から実施し、各中学校区において教員の兼務発令による小中乗り入れ授業の実施、授業参観・行事での児童生徒や教職員の交流等、様々な小中連携の取り組みを進めてきた。この取り組みにより、中学校での学習へスムーズに移行できたことや、中学校生活への不安を軽減できたことなど一定の成果を上げることができた。

質問

今年度から3年間かけて黒保根小学校と中学校における小中一貫教育の研究

究をするということだが、小中一貫校設置についての市長の考えは。

答弁

黒保根地区に児童生徒の推移からも早急に検討する必要があることから、早期の小中一貫校の設置を念頭に、小中学校の教員が一体となった組織体制や9年間一貫した系統的な教育課程を検討するなど、黒保根地区の子供にとってより望ましい学校のあり方を、スピード感をもって研究するよう教育委員会にお願いしているところである。



黒保根中学校



久直 関口 (日本共産党議員団)

ブルーインパルス

質問 ブルーインパルス飛行招致はどこで検討し決定されたのか。

答弁 桐生八木節まつり協賛会の企画財務委員会事務局である観光交流課が担当となって立案した。ブルーインパルスは、全国各地における祭りや記念行事で展示飛行を実施している状況を鑑み、第55回を迎える桐生八木節まつりの開催を記念した事業として、桐生市長と桐生八木節まつり協賛会会長の二者連名で、防衛省自衛隊群馬地方協力本部長あてに展示飛行の依頼書を提出し、4月上旬に展示飛行場所に選定されたとの連絡があった。なお、最終的には主催団体代表者会議において決定となる。

質問 ブルーインパルスの飛行について様々な課題がある



ブルーインパルス展示飛行イメージ

が、飛行中止を求める要請書などはどのくらい出されているのか。

答弁 中止の申し入れは8件で、面談による中止の申し入れは1件、はがき等については94通いただいている。

質問 この状況の中で桐生八木節まつりにおけるブルーインパルスの飛行を中止するべきと考えるが当局の見解は。

答弁 様々な観点から検討した結果、今回招致することに決定させていただいた。安全性の確保を最優先に実施したいと考えているのでご理解いただきたい。



雄 康 伏木 (無党派)

市長退職金について

質問 市長退職金は、市長任期中の成果に応じて支払われるべきではないかと考える。

市長退職金の議論については、小泉元首相が、「一般的に自治体の首長の退職金が高すぎる。例えば、多選をする場合には、億を超える場合もある。そんな中で、今、自治体財政は大変厳しいので、どうかそういった部分を抑えてくれないか」という発言をしている。また、この数年の中で他の自治体で、いろいろな取り組みがなされており、市長退職金を廃止している自治体もある。



桐生市役所

あるいは、廃止だけではなく、市民に判断していただいで、決めていこうではないかという議論もあり、東村山市では結論はまだ出ていないようであるが、そういった議論がある。

質問 このように、市長退職金のあり方について、議論を始めるべきではないか。その点について市長はどう考えるか。

答弁 小泉元首相の話は、日本総研の首相の退職金というところを書いてあったので読ませていただいた。様々な意見を持った首長もおり、また、市長の退職金についていろいろ議論されているというのには承知している。ただ、ある程度は皆さんで議論したうえで、市長退職金のあり方を検討していくことは必要になると考える。

人事案件

市議会は、次の人事案件3件に、同意することに決定しました。

教育委員会委員

高山 信 廣氏 (新任)

公平委員会委員

川村 隆氏 (再任)

固定資産評価員

星野 元 保氏 (新任)

会派構成

(H30.6.1 現在)

- 創志会 (6人)
- そうぞう未来 (5人)
- クラブ21 (3人)
- 公明クラブ (2人)
- 日本共産党議員団 (2人)
- ※ 無党派議員 (4人)

議案番号・議案		議員氏名	工藤英人	園基博	飯島英規	伏木康雄	渡辺恒	関口直久	北川久人	人見武男	久保田裕一	辻正男	田島忠一	新井達夫	山之内肇	周東照二	佐藤光好	佐藤幸雄	森山享大	福島賢一	岡部純朗	河原井始	周藤雅彦	小滝芳江	結果
市長提出	報告第1号	専決処分（桐生市市税条例の一部改正）の承認を求めるについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	報告第2号	専決処分（桐生市都市計画税条例の一部改正）の承認を求めるについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	報告第3号	専決処分（桐生市国民健康保険税条例の一部改正）の承認を求めるについて	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第45号	桐生市市税条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第46号	桐生市地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第47号	財産取得（高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第48号	桐生市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第49号	平成30年度桐生市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第50号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第51号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第52号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
議員提出	議第4号議案	桐生市職員不祥事再発防止調査特別委員会設置に関する決議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第5号議案	地方財政の充実・強化を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

請願の審査結果

この定例会では請願5件の審査を行い、その結果、いずれも閉会中の継続審査となりました。

◎継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第12号	「核兵器禁止条約の締結を求める意見書」を政府に送付することを求める請願
	第13号	「核兵器禁止条約の締結を求める意見書」を政府にあげる事の採択を求める請願
経済建設委員会	第15号	「桐生八木節まつりでのブルーインパルス展示飛行中止」を求める請願
教育民生委員会	第14号	学校給食費の無料化を求める請願
	第16号	年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願

全員協議会

桐生市教育委員会職員の不祥事について

市議会は、6月1日（金）に全員協議会を開催し、標記の件について当局から説明を受けました。

報告の内容は、事件の経過について、再発防止に向けた取り組みについてなどでした。



議会報告会

第25回議会報告会・意見交換会

日時 平成30年8月21日（火）午後6時～午後7時10分

場所 東公民館2階 講堂

議員の暑中見舞状・寄附などは法律で禁止されています。

公職選挙法により、議員は次のことを禁止されています。市民の皆様のご理解をお願いします。

- ◎暑中見舞状などの挨拶状を出すこと。
- ◎寄附をすること。
- ◎本人が出席しない慶弔に祝儀や香典を出すこと。



この定例会では、次の意見書を可決し、内閣総理大臣ほかに送付しました。

地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、子育て支援、医療、介護などの社会保障、被災地の復興、環境対策、地域交通の維持など、果たす役割が拡大する中で、人口減少対策を含む地方版総合戦略の実行など、新たな政策課題に直面しています。

一方、地方公務員をはじめ、人材が減少するなかで、新たなニーズの対応が困難となっており、公共サービスを担う人材確保を進めるとともに、これに見合う地方財政の確立を目指す必要があります。

こうした状況にもかかわらず、社会保障と地方財政を二大ターゲットとした歳出削減に向けた議論が加速しています。

本来、必要な公共サービスを提供するため、財源面でサポートするのが政府の役割です。しかし、財政再建目標を達成するためだけに、不可欠なサービスが削減されれば、国民生活と地域経済に疲弊をもたらすことは明らかです。

このため、2019年度の政府予算、地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積り、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立を目指すことが必要です。このため、政府に以下の事項の実現を求めます。

記

1. 社会保障、被災地復興、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保を図ること。
2. 子ども・子育て支援新制度、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。
3. 地方財政計画に計上されている「重点課題対応分」及び「まち・ひと・しごと創生事業費」については、自治体の財政運営に不可欠な財源となっていることから、現行水準を確保すること。また、これらの財源措置について、臨時・一時的な財源から恒久的財源へと転換を図るため、社会保障、環境対策、地域交通対策など、経常的に必要な経費に振り替えること。
4. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化を図り、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。
5. 自治体の基金残高を、地方財政計画や地方交付税に反映させないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

提出先 ○内閣総理大臣 ○総務大臣 ○財務大臣 ○文部科学大臣 ○厚生労働大臣 あて

平成29年度政務活動費収支報告書

政務活動費は、地方議会の活性化や議員の調査研究その他の活動基盤の充実等を図る観点から、これらの活動に必要な経費の一部を助成するものです。

当市では、桐生市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議会における会派または無会派議員に対し、議員一人あたり年額380,000円を半期（4月、10月）に分けて交付しています。

収支報告書には、原則、1円以上の支出に対し領収書の添付を義務付けており、年度ごとに精算しています。支出額が交付額に満たない場合には、その残余额を返還しています。

単位：円

交付額	会派及び無会派議員名	創志会	そうぞう未来	クラブ21	公明クラブ	日本共産党議員団	飯島英規	合計
交付人数		7人	6人	3人	2人	2人	1人	21人
交付額		2,660,000	2,280,000	1,140,000	760,000	760,000	380,000	7,980,000

※伏木康雄議員は政務活動費の交付申請をしていません。

単位：円

支出額	会派及び無会派議員名	創志会	そうぞう未来	クラブ21	公明クラブ	日本共産党議員団	飯島英規	合計
研究研修費		553,440	66,000	82,000	136,660	280,980	0	1,119,080
調査旅費		256,320	0	0	16,480	0	0	272,800
資料作成費		1,647,719	905,283	539,095	38,539	210,196	0	3,340,832
資料購入費		642,753	475,955	206,512	300,866	108,234	0	1,734,320
広報費		0	833,773	216,540	13,446	43,050	0	1,106,809
広聴費		0	37,422	0	0	0	0	37,422
人件費		0	0	0	0	0	0	0
その他の経費		0	0	0	0	0	0	0
合計		3,100,232	2,318,433	1,044,147	505,991	642,460	0	7,611,263

※支出総額が交付額を上回る場合には、その差額は会派での負担となります。

行ってきました 行政視察

桐生市議会では、他の自治体で取り組まれている先進事例について調査・研究し、今後の市政に反映させるため行政視察を行っています。また、その成果を議会基本条例に基づき、市長に提言しています。

今回は、3委員会についてご紹介します。詳しくは、桐生市ホームページに視察報告書を公開しておりますのでご覧ください。



期 日

平成30年1月30日～2月1日

視察項目

鳴門市サテライトオフィスについて《徳島県鳴門市》
高松丸亀町商店街再開発事業について《香川県高松市》
岡山市コンベンションへの取り組みについて《岡山県岡山市》



経済建設委員会

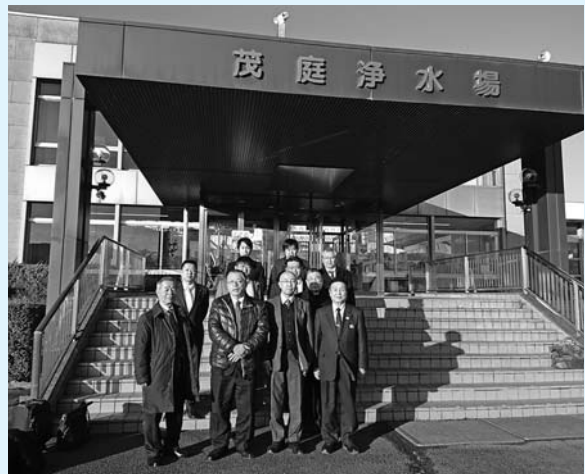
水質調査特別委員会

期 日

平成30年1月18日～19日

視察項目

仙台市の水質管理について《宮城県仙台市》
宇都宮市環境協定（水質）の取り組みについて及び
宇都宮市ゴルフ場環境保全協定の取り組みについて
《栃木県宇都宮市》

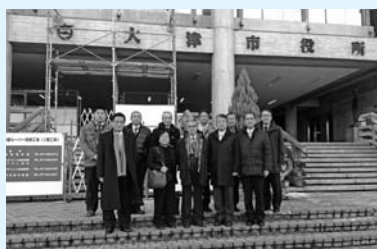


期 日

平成30年1月25日～26日

視察項目

大津市議会ミッションロードマップについて《滋賀県大津市》
四日市市議会の改革について《三重県四日市市》



地域政策及び
議会改革調査特別委員会

表彰されました

5月30日に開催された「第94回全国市議会議長会定期総会」において、新井達夫議員が、議員として10年以上その職にある者として、また飯島英規議員及び周藤雅彦議員が、議員として15年以上その職にある者として一般表彰を受賞されました。

また、森山享大議長は全国市議会議長会部会長、全国市議会議長会理事、国と地方の協議の場等に関する特別委員会委員として顕著な功績が認められ、全国市議会議長会会長から感謝状の贈呈がありました。



新井議員

飯島議員

周藤議員

森山議長

議長記者会見



6月20日に森山議長による記者会見を開催しました。会見では、桐生市職員不祥事再発防止調査特別委員会の設置について、「議会改革度調査2017」ランキングの結果について発表しました。



桐生市職員不祥事再発防止調査特別委員会を設置

この定例会では、桐生市職員不祥事再発防止調査特別委員会設置に関する決議案が議員より提出され、全員賛成で可決し、同特別委員会が設置されました。

この特別委員会の調査事項及び委員構成は、次のとおりとなりました。

調査事項

1. 桐生市職員による不祥事が連続する原因の調査等について
2. 再発防止策の提言等について

委員構成

委員 長：北 川 久 人	副委員 長：山之内 肇
委 員：工 藤 英 人	伏 木 康 雄
関 口 直 久	人 見 武 男
田 島 忠 一	新 井 達 夫
岡 部 純 朗	周 藤 雅 彦
小 滝 芳 江	

市民の皆様におかれましては、平素より議会活動に関しまして、深いご理解と温かなご支援を頂いておりますことに、心より御礼を申し上げます。

我々、桐生市議会は市民の皆様から頂戴した議員としての職責を全うするため、日々、議会改革に取り組んでおります。毎年、早稲田大学マニフェスト研究所が行っている「議会改革度調査2017ランキング」が発表され、全国1788議会ある中で、昨年度17位から更にランクアップし、今年度は全国6位、関東では初の1位、群馬県内では5年連続1位という非常に高い評価を頂きました。現在までの議会活動にご理解とご協力くださいました全ての皆様のおかげであると感じています。本当にありがとうございました。

今後も議員22名と事務局一丸となって、「いちばん身近な頼れる議会」をモットーに掲げ、地方創生時代に相応しい議会として、桐生市の持続的発展のため、専心努力を傾注して参る所存です。今後ともご支援をよろしくお願い致します。



森山 享大 議長

福島 賢一 副議長

ごあいさつ

市民の皆様におかれましては、日頃より桐生市議会にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

6月定例会も、報告事案3件、議案5件、人事案件等、審議審査を行った次第であります。

その中で、議案第49号一般会計補正予算におきまして、総合福祉センター及び保健福祉会館の各所改修工事並びに本町四丁目あーとほーる鉾座存続事業等の増額補正について議決致しました。

社会変動と共に、地方議会の取り組み、運営手法も変わる中で、桐生市議会も他に先駆け議会改革に取り組み、自主提案型として、平成31年度予算編成に当たり、3常任委員会（総務・経済建設・教育民生）において事業要望を策定し、議長が集約し、市当局へ提出するといった従来なかった取り組みを進めているところです。

今後も市民の皆様のご意見、要望等をお伺いする中で、予算に反映できますよう取り組んでまいる所存であります。

市民の皆様におかれましては酷暑に向かう時節柄、お身体をご自愛していただきますことをご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

桐生市議会

検索

<http://www.city.kiryu.lg.jp/shigikai/>



LINE



フェイスブック



ツイッター